

マスコン 「マスターコントローラー」(主幹制御器)

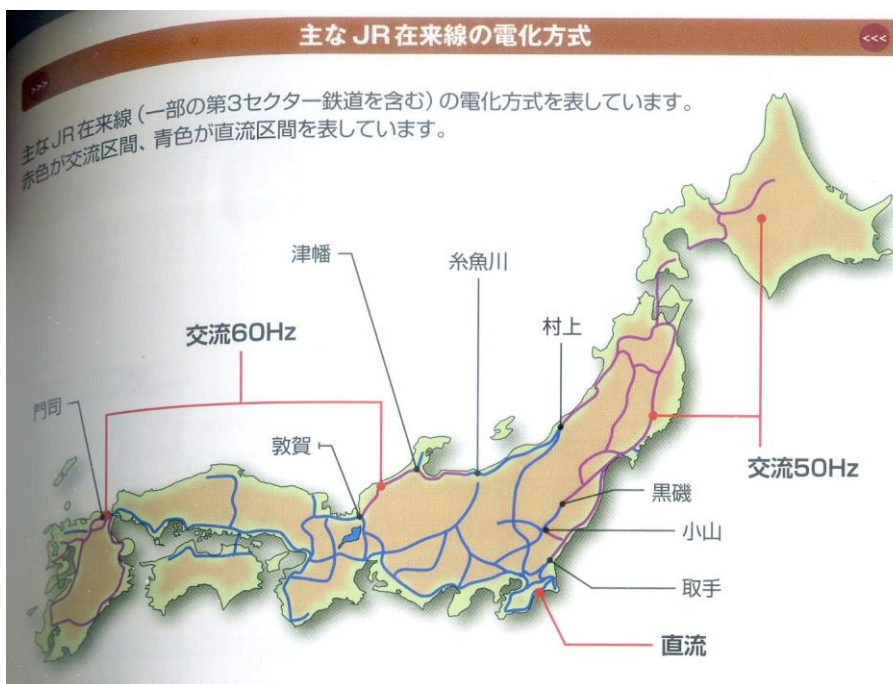
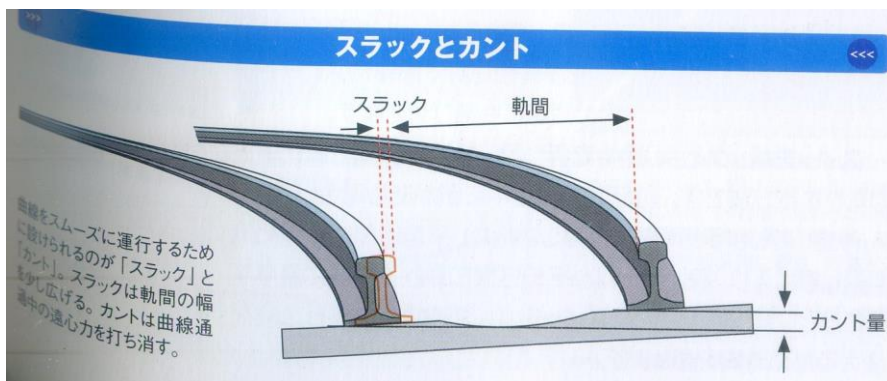
車輪を駆動する主電動機に送る電気の量を調節する。

「ワンハンドルマスコン」マスコンとブレーキを1つのハンドルで操作する。引けば加速し、押せばブレーキが作動する。



自動車というクラクションは、鉄道では**警笛**といいます。電車側から何らかの合図や危険の警告を音響によって知らせる器具で、運転室付きの電車には必ず搭載されています。

警笛には、圧縮空気で作動する空気笛と電動式の電気笛の2種類があり、どちらも搭載している車両もあります。鳴らし方についての基準はどちらも同じで、危険を警告するときは**短くて急な警笛を数回**、注意を促すときは**適度な警笛を1回**、接近を知らせるときは**長くて緩い警笛を1回**、非常事故が生じたときは**短くて急な警笛を数回に加えて長くて緩い警笛を1回**、それぞれ鳴らすことになっています。



碍子の違い

直流 1500V

交流 2万V、新幹線 2.5万V

鉄道が使う電力は電力会社から供給されるものだけではなく、自前の発電所から供給されるも

のもあります。JR 東日本は信濃川の3か所に水力発電所を持ち、そこで発電した電気が全社の総使用電力量の約25%を占めています。また、神奈川県川崎市には川崎火力発電所もあり、これを合わせると総使用電力量の約60%を自前の発電所から供給できることとなります。

第1種の踏切の警報機や遮断機はどのように作動するのでしょうか。まず、警報機が列車の接近により、警報を発します。警報音が鳴り出したら、15秒前後で遮断機が遮断かんと呼ばれる棒を降ろします。遮断かんが降りてから、電車の到達までの時間は20秒を標準とすることが決められています。